

わがまち再発見

シリーズ 文化財の紹介

対馬藩主宗家墓所の整備について

国の史跡に指定されている対馬藩主宗家墓所で、老朽化のために雨漏りや破損が目立っていた万松院本堂の保存修理工事を平成20年度からおこなっています。多くの瓦がひび割れたり欠けたりして、下地の竹は腐って大きな穴が何力所も開いていました。腐って駄目になった骨組みの木材を新しい材料とつなぎ合わせたり交換したりしたあとで、もう一度、屋根瓦を葺き直して修理します。万松院本堂は墓所の火事により焼失し、明治13年に再建されました。今回は保存修理工事の様子を写真でご紹介します。建築から約130年経った万松院本堂の様子をご覧ください。

* 建物の歴史的価値を損ねないよう、文化財保存修理の理念と技術に基づいて工事をおこないます。



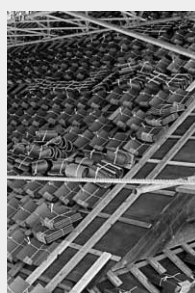
解体途中の様子 屋根

* 屋根瓦は建築当時の瓦から型を取って、忠実に再現したもので葺き直します。



解体前の様子 全景

* 建築当時の材料を可能な限り保存し、腐食や破損している箇所だけを新しい材料と繋ぎかえたりして修理します。



屋根瓦の様子

* これから屋根を葺き、仕上げしていきます。



木材修理の様子

現在は屋根瓦を葺き終え、壁の漆喰塗りなど内装の保存修理作業に移っています。冬には美しく修理された姿を見ることが出来るようになります。今後も文化財課では貴重な歴史遺産を後世に継承していくべく、様々な事業をおこなっていきますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

8月に入った本の紹介!

つしま図書館 0920(52)3900

『共依存・からめとる愛』

信田 さよ子 / 著

愛だったはずなのに、なぜ苦しいのか?への明快な答えがここにある。長年家族援助をしてきたカウンセラーが、愛という名のもとに隠れた支配・共依存を解明する。



『ぼくのしょうらいのゆめ』

市川 準 ほか / 著

子ども時代に思い描いた夢は、大人になったとき、どのように自分の中に残っているのだろうか? アート、科学、文学から口ックまで、各界の第一線で活躍する11人の少年時代を、当時の作文や絵、写真などとともにご紹介する。



『あいしてくれてありがとう』

宮西 達也 / 著

ひとりぼっちのパウパウサウルスにはじめてできたおだちは、おそろしいティラノサウルスでした…。やさしい愛情物語。愛と涙がいっぱいのティラノサウルスシリーズ第7弾。



『ぼくがラーメンたべてるとき』

長谷川 義史 / 著

【日本絵本賞(第13回)】小学館児童出版文化賞(第57回)【僕がラーメンたべてるとき、となりでミケがあくびした。となりでミケがあくびしたとき、となりのみっちゃんがチャンネルを変えた…。遠く遠く離れた国でいま何が起きているのだろうか?同じこの空の下で。



『こびと大百科』

なばた としたか / 著

こびとの特徴や生態を写真とイラストで解説した、架空のフィールドガイドブック。「平野部」「山間部」「水辺」「ヒトの近く」と大きく4つに分類し、観察方法や捕まえ方、Q&Aなどをまじえ楽しく紹介。三輪 一雄 著



8月15日～9月14日までの
休館日のお知らせ

8月
17日(月)・20日(木)
24日(月)・31日(月)
9月
7日(月)・14日(月)